



## 水泳指導開始（25日～）

来週の水曜日（25日）から今年度の「水泳学習」が始まります。詳細な日程につきましては、それぞれの学年からお知らせがありますので御確認ください。天候によって実施できないため、変更となる時もあると思いますが準備をお願いします。また、子供たちの体調管理はもとより、水泳に関わる道具や水泳カードの準備でお世話になると思います。どうぞよろしくお願いいたします。

ところで、この水泳学習に向けて、先日（6月15日（日））は、古賀育正会長様をはじめ、多くの地域の方や保護者の方、そして子供たち、教職員の力を合わせ（総勢70名ほど）、長崎市民小ヶ倉プールの清掃活動を実施しました。多くのお力をお借りして、充実した水泳学習が実施できることに、感謝いたします。御協力ありがとうございました。

水泳指導に関して御不明な点は、遠慮なくお尋ねください。



## 教育週間が始まります

以前お伝えしたことと重複しますが、日曜日（22日）から、「こがくらっ子の心を見つめる教育週間（～28日）」が始まります。期間中は、28日（土）に「土曜授業（参観）」があります。その他の時間帯も自由に参観していただくことができます。ぜひ、足をお運びいただければと思います。

なお、28日（土）は学級懇談会も予定しています。1学期の学級の様子に加え「夏休みの暮らし」など、子供たちの健やかな成長や安全な生活についてお話しさせていただきます。

授業参観終了から懇談会までに時間が空いてしまう学年（1・3・5年）がありますが、その時間帯も参観可能ですし、図書室を御利用になりお待ちいただいても構いません。御迷惑をお掛けしますが、できるだけ多くの方の御参加をお待ちしています。

また、今回は、児童の下校時刻に合わせて「100人パトロール」を実施いたします。保護者の皆様や関係者の方々に一緒に帰路についていただき、通学路をパトロールし、危険箇所の情報共有を行っていただければと思います。その情報をできるだけ改善に結びつけることができるようにしたいと考えています。また、単なる点検活動ではなく、地域住民同士のつながりを深めることも大きな目的の一つです。そのことが、子供たちの見守りにつながっていくと考えています。土曜のお昼時で大変かと思いますが、ぜひ御参加いただきたいと思います。

### 「教育週間」の目的

- 命を大切にする心や思いやりの心の育成
- 憧れや将来への志の育成
- あいさつやマナーの向上

です。そのための主な取組は以下の通りです。

- 「命に関わる講話」で心情を育む
- 「情報モラル」を学ばせる
- 「道徳の授業」の公開

当然、これらのことは、この期間だけで醸成されるものではありません。日々の指導の積み重ねが必要だと思えます。御家庭での啓発にも御協力よろしくお願いいたします。



## 7月の主な行事（予定）



日	曜	学校行事（予定）
1	月	全校集会 5年生 高校生平和大使講演
3	木	<b>全校給食なし</b> 下校
7	月	クラブ活動
10	木	下校パトロール
18	金	終業式
20	日	団地夏祭り（16：00～）
22	火	個人面談（25日まで）
8/23	土	まちづくり協議会 夏祭り

来月の予定をお知らせするのが遅くなってしまいましたが、今のところ、上のような予定になっています。あくまでも予定ですが、参考にされてください（変更がある場合は、できるだけ早急にお知らせいたします。）。

その中で、次の点について御確認ください。

### ①3日「全校給食なし」について

この日は、給食の食回数の調整（年間の給食回数に上限がある）が必要となるため、**全校給食なしで下校**します。したがって、下校予定時刻は、**全校一斉で12:45頃**となります。御理解と御協力をお願いいたします。

### ②個人面談について

今年度も、夏休みの開始に合わせ、「個人面談」を実施いたします。後日、別紙プリント「個人面談日時希望調査のお知らせ」を配付します。そちらに必要事項を御記入のうえ、担任の方へ御提出ください。調整後、日時が決定したものをお配りいたします。御迷惑をおかけしますが、よろしくお願いいたします。

### ③団地夏祭りについて

例年開催されている「団地夏祭り」ですが、今年度も本校から、5・6年生の有志による「小ヶ倉ソーラン」が披露されます。運動会とはまた違った雰囲気の中での演舞を御覧いただければと思います。

### ④まちづくり協議会 夏祭り（8月23日）

詳細については後日お知らせいたします。

## 校長のつぶやき

学校って何のためにあるのでしょうか。このような漠然とした問いでは、答えも無数に出てくると思います。「学力」「思考力」を身に付けることは重要です。それと同時に「社会適応能力」も学校でしか身に付けられないことのひとつだと思います。

「目の前にあることを  
一生懸命やり続ける力」

子供たちにとって、学校というところは、ある意味、いろいろとお膳立てしてしてくれるところです。子供たち自ら準備しなくてもやるべきことが与えられることも多いです。勉強にしても、行事にしてもそうですよね。

中には“なぜこんなことをやらないといけないのか？”“これに何の意味があるのか？”と思うこともあるかもしれません。しかし、だからと文句ばかり言って、真面目に取り組まなかったり、途中で投げ出してしまったりする子供だとしたら、そこから何か得るものはあるのでしょうか？ そのことに一生懸命取り組めば、その経験から学びを得て、自らの成長につなげていけるはずで。結果的に、その内容に不満が残るものだったとしても、それはやったからこそ見いだせたもののはずです。何もやらずに知ったかぶりやできるふりをしていたり、失敗をおそれて何にもチャレンジしなかったりしていても、何の成長もないはずで。

これは社会に出てからもまったく同じです。チャンスはいつ訪れるか分かりません。チャンスは誰にでも平等にあると思いますが、子供たちがそのチャンスをつかむ唯一の方法は、今、目の前にあることを精一杯やり続けていくことだと思います。目の前のことに精一杯取り組むことで、目標に向かって努力するという姿勢も身につけることができます。ただ、そのためには周囲の大人の「厳しさ」が必要になるはずで。

人生は思い通りにいかないことの連続であり、「逆境に負けない力」、「落ち込むようなことがあっても立ち直る力」である心の復元力が必要です。そのためには、適度な挫折を経験する（させる）ことも必要不可欠だと考えます。

子供たちのことを思えばこそ、過保護にならず、適切に指導していくことで、「心の復元力」を高めたいと願う、今日この頃です。